

実践 総義歯スタンダード

歯科医師がさだめ 歯科技工士がつくる

中込敏夫 著

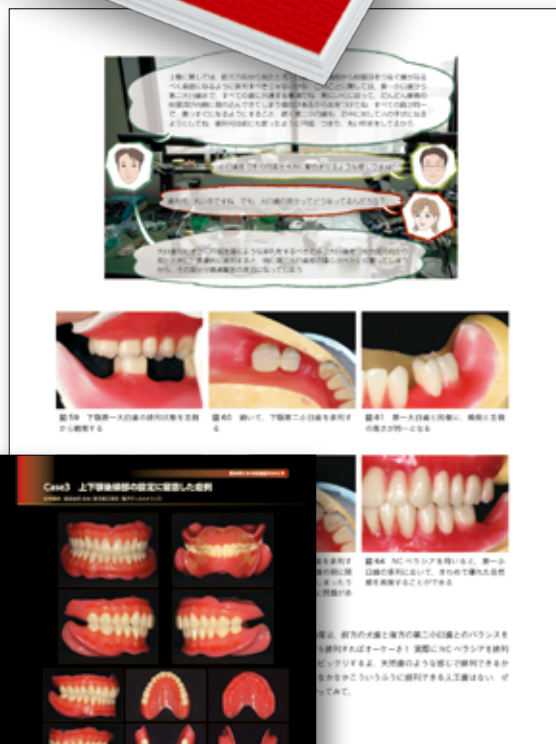
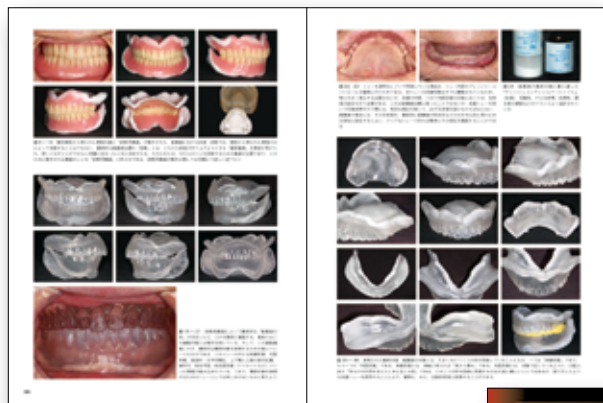
総義歯治療の“難しさ”を 払拭する一冊

● 歯科医師が最良の総義歯を作ることに必要な情報収集を行い、患者さんに最も適した「形」を決定し、歯科技工士が極限の精度をもって再現し、その後の生体変化に対する最小限の調整を重ねることにより患者さんの失われた形態と機能を回復することができます。

● 本書は、著者の長年にわたる臨床技工経験から、総義歯製作の「基準」を示し、総義歯製作の各ステップで必要となる材料特性や技工操作についての知識を、豊富な写真とダイアログ形式による説明でわかりやすく解説しています。

■A4 判変型・128 頁・オールカラー ■定価（本体6,200円+税）

ISBN978-4-263-46418-2



CONTENTS

序章 診断用義歯を用いた総義歯治療
「総義歯のかたち」作り込みの進め方

第1章 総義歯製作のための「基準」

第2章 印象採得

第3章 作業用模型の製作

第4章 人工歯排列

第5章 歯肉形成

第6章 重合操作

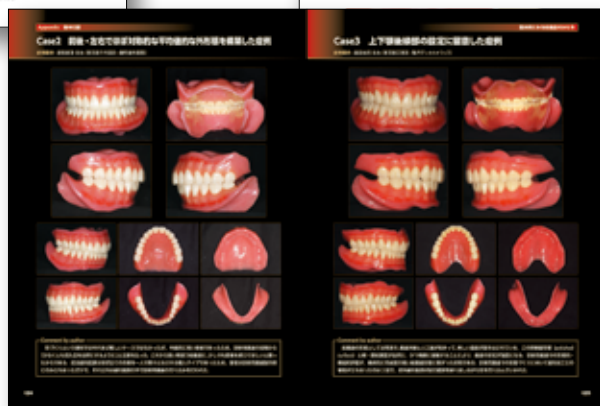
第7章 デンチャーカラーリング

第8章 咬合調整

第9章 仕上げ～口腔内装着

第10章 立ち会いの実際とメンテナンス

Column / Question & Answer / Appendix 巻末付録



医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込 1-7-10

TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633

<http://www.ishiyaku.co.jp/>



実践

総義歯スタンダード

歯科医師がさだめ 歯科技工士がつくる

CONTENTS

序章 診断用義歯を用いた総義歯治療
「総義歯のかたち」作り込みの進め方

第1章 総義歯製作のための「基準」

- ☑ 総義歯の数値を計測してみる
- ☑ 総義歯の形を知る
- ☑ 基準を知ることの大切さ
- ☑ 総義歯を作ってみる訓練
- ☑ 技工操作の基準は咬合器から
- ☑ 咬合器選択の考え方
 - 1. 咬合器の種類
 - 2. フランクフルト平面か、カンペル平面か？
 - 3. 顎路調節機構
 - 4. トランスファースystem
 - 5. その他

第2章 印象採得

- ☑ 総義歯の印象って何を採ってるの？
- ☑ 最終印象採得
- ☑ 採得した上下顎の印象を観察してみる

第3章 作業用模型の製作

- ☑ ボクシングの方法
- ☑ 石膏の選択
 - 1. 硬化膨張
 - 2. 耐熱性
 - 3. 強度
 - 4. 色彩
 - 5. 具体的な推奨石膏
- ☑ キレイで作業しやすい作業用模型の大切さ

- ☑ 咬合器 vs 模型
- ☑ 咬合床もキレイに作ろう
 - 1. 模型製作の仕上げ
 - 2. 基礎床の製作
 - 3. トレーレジンの性質

第4章 人工歯排列

- ☑ 表現者としての歯科医師と歯科技工士
- ☑ 強く・明るく・ダイナミックな排列
- ☑ 上顎前歯の排列
- ☑ 下顎前歯の排列
- ☑ 臼歯部の排列は歯列弓の形を意識する！
- ☑ 排列の考え方のおさらい

第5章 歯肉形成

- ☑ 研磨面＝唇・頬・舌の“ソファ”
- ☑ 歯肉形成
- ☑ 歯肉形成の考え方① 上顎の歯肉形成の実際
- ☑ 歯肉形成の考え方② 下顎の歯肉形成の実際

第6章 重合操作

- ☑ アクリルレジン重合
 - 1. レジン重合の要点
 - 2. 適合精度の高い重合
 - 3. 物性の高さ
- ☑ レジン重合って、何？
- ☑ フィットデンチャーシステムの詳細
 - 1. レジンの変形
 - 2. 物性の向上
 - 3. フィットデンチャーシステム

第7章 デンチャーカラーリング

- ☑ デンチャーカラーリングの術式
- ☑ デンチャーカラーリング技法の具体的手順
 - 1. デンチャーカラーリングセット
 - 2. カラーリングエリアの設計
 - 3. カラーリングに用いる筆

- 4. カラーリングの実際
- 5. 床用レジンの填入

第8章 咬合調整

- ☑ オクルージョンって、ナンダ？
- ☑ 静的な咬合、動的な咬合
- ☑ 総義歯の咬合調整の極意
- ☑ 総義歯の咬合に「理想咬合」は存在しない
- ☑ 咬合器上での咬合調整の実際

第9章 仕上げ～口腔内装着

- ☑ 割り出しは絶対に失敗をしない方法で！
- ☑ 総義歯の研磨はどこまで行うべきか？
 - 1. 理想的な床内面
 - 2. デンチャーブラーク
- ☑ エアロラップ法による鏡面研磨
 - 1. 研磨の準備
 - 2. エアロラップ法による鏡面研磨工程
- ☑ 実際に研磨をしてみよう

第10章 立ち会いの実際とメンテナンス

- ☑ 患者を知ることの大切さ
- ☑ 立ち会いに臨む
 - 1. 身だしなみ
 - 2. 高齢者と関わる心構え
 - 3. メモの功罪
- ☑ 歯科技工士として聞くこと・伝えたいこと
 - 1. 患者からの情報の取得
 - 2. 歯科技工士からの情報発信
- ☑ 患者を誘う会話のススメ
- ☑ 術後のメンテナンス

Column

石膏レジン分離材／デンチャーコピー／総義歯印象材の消毒

Question & Answer

Appendix 巻末付録 臨床例にみる総義歯のかたち

関連図書のご紹介

月刊「歯科技工」別冊

マテリアル選択・操作のハテナに答える **臨床技工材料学の本** FUNDAMENTALS of Esthetic Dental Technology IV

中込敏夫・伴清治 編

臨床技工で活きる材料と操作について解説した一冊

- 臨床に活かせる材料学
- 歯科医療・歯科技工の目標は歯科材料とテクニックを駆使して歯の解剖学的形態を再構築することにあります。本別冊は材料にスポットをあて、「模型製作」「原型製作」「レジン成形」「セラミックス成形」「金属成形」「接着」「仕上げ」という七つの項目について第一線の研究者・開発者が、臨床技工で遭遇する疑問について解説しています。
- なぜこの材料を選択すべきなのか、選択した材料をどのように操作すべきなのか、といった疑問に答えてくれる一冊です。
- A4判・152頁・オールカラー ■定価（本体 5,400円＋税）注文コード：360610



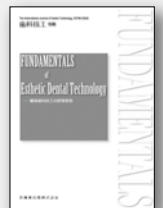
月刊「歯科技工」別冊

FUNDAMENTALS of Esthetic Dental Technology—審美歯科技工の原理原則

小田中康裕・中込敏夫・西村好美・石川功和 編

機能と形態が両立した真の美しさを目指して—プロフェッショナルな歯科技工士におくる審美歯科技工のエッセンス

- 「審美とは、機能と形態が両立した結果として存在するものである」という考え方をベースにした、真に患者、歯科医師の要求に応える審美的な補綴物製作に従事するプロフェッショナルな歯科技工士のための一冊。あえて「審美の原理原則のみ」に焦点を絞った指南書です。
- A4判・164頁・オールカラー ■定価（本体 5,200円＋税）注文コード：360550



医歯薬出版 ご注文承り書

実践 **総義歯スタンダード** 歯科医師がさだめ 歯科技工士がつくる ()冊

月刊「歯科技工」別冊

マテリアル選択・操作のハテナに答える **臨床技工材料学の本** ()冊

月刊「歯科技工」別冊

FUNDAMENTALS of Esthetic Dental Technology—審美歯科技工の原理原則 ()冊

☐ ご指定納入店 () (納入店ご指定の場合 手数料はかかりません。) ☐ 直送希望 (代金引換のみのお取り扱いとなります。 一回の発送につき送料200円＋代引き手数料250円が別途かかります。)

●お名前

●TEL

●ご住所 (〒)

★必要事項をご記入の上、FAX. 03-5395-7633 にご送信ください。★弊社ホームページ <http://www.ishiyaku.co.jp/> からもお申し込みいただけます。
医歯薬出版株式会社 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630

2015年9月パンフレット作成